

「憲法九条の碑」小淵山観音院に建立 5月3日（憲法記念日）に除幕式開催

5月3日（月・憲法記念日）、「憲法九条の碑」の除幕式が小淵山観音院で行われ、約100人が参加しました。

来賓として石川良三市長があいさつし、ジャーナリストの伊藤千尋さんのメッセージが紹介されました。

首都圏で初めての平和のシンボル

石碑の高さは165センチ、幅は236センチで、表面には日本国憲法前文と第九条、背面には建立の趣旨と募金者名（希望者320名、30団体）が刻まれています。募金者は、匿名希望者114名を含めて434名で、募金総額は365万7222円でした。

「春日部に憲法九条の碑を建てる会」代表世話人の牛山積さんは、安倍政権が集団的自衛権を閣議決定し、戦争法を国会で強行した経過に触れながら「非核・平和都市宣言をしている春日部市に建立したことは、首都圏に平和のシンボルを輝かせ、大いに意義のあることです。」と強調しました。

また、場所を提供した小淵山観音院住職の尾花樹芳さんは、開眼法要後「この石碑を通して憲法や戦争と平和のことを考える場にしてほしい」と述べました。

憲法九条の碑は沖縄県をはじめ全国各地に18カ所ありますが、関東地方では茨城県に2カ所あるだけで首都圏では初めての建立です。現在、都内でも建立のとりくみが始まっています。（2021年5月5日、松本ひろかず記）



憲法9条の碑、表面（左）と背面（右）



「憲法9条の碑」除幕式で挨拶する石川良三市長